

会 議 録

会 議 の 名 称	第37回藤井寺市子ども・子育て会議
開 催 日 時	令和7年2月20日（木） 10時00分～11時55分
開 催 場 所	藤井寺市役所 厚生棟2階研修室
出 席 者	<委員> 興石 由美子（会長）、小磯 久美子（副会長）、井関 祐子、 岡本 祐典、阪倉 隆仁、爲貞 修子、中辻 智子 <事務局> こども未来部長、子育て支援課 <関係課> こども施設課、こども育成課、健康・医療連携課、学校教育課
欠 席 者	下村 富美枝、春名 絵美、山本 多津子
会 議 の 議 題	(1) 第三期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画について ・パブリックコメントの実施結果について ・計画（最終案）について (2) 藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画）（案）について (3) 民間保育施設公募結果について (4) 就学前保育施設の定員変更について (5) その他
会 議 資 料	○ 次第 ○（資料1）パブリックコメントの実施結果（案） ○（資料2）第三期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画（案） ○（資料3）藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画）（案） ○（資料4）民間保育施設公募結果について ○（資料5）就学前保育施設の定員変更について
会 議 の 成 立	成立
会議録の作成方法	☐ 全文記録 ☒ 要点記録
記録内容の確認方法	☐ 会議の議長の確認を得ている ☒ 出席した構成員全員の確認を得ている
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開
傍 聴 者 数	0人
その他の必要事項	—

審 議 内 容 （ 発 言 者、 発 言 内 容、 審 議 経 過、 結 論 等 ）
1. 開会 （興石会長）挨拶 2. 配付資料 （事務局） ○配付資料の確認 3. 議題 (1) 第三期藤井寺市子ども・子育て支援事業計画（案）について （興石会長） では、事務局より説明をお願いします。 （事務局） ○資料1・2に沿って説明 （興石会長） 説明のあったパブリックコメント、事業計画（案）について、ご意見等はあるか。 （井関委員） すべての子どもたちや保護者に寄り添うという思いを示してもらったと受け止めており、これまでよりも、理念に沿った取組方針を取りまとめてもらったのではないかと感じている。特に、就学前施設と小学校との連携については、今後も大切にして取り組んで欲しい。 （岡本委員） パブリックコメントの1つ目の意見について、他市よりも利用しにくい事業であるとの意見であるが、他市の状況は把握されているのか。 （こども育成課） 他市の状況については把握していない。一時預かり事業だけではなく、他の事業の中での託児のことを仰っているかも分からない。今後、他市の状況を調べておく。 （岡本委員） 他市の状況を調査したうえで、本当に他市に比べて利用しにくい状況であるのか把握すべきではないか。そのうえで、市としての対応可否について、しっかりと市民に伝えていくべきであると考えます。 （小磯副会長） すぐに預かって欲しいという保護者の気持ちに寄り添うことが大切である一方で、現場において、子どもの安全・安心を守るために事前予約を必要としているはずであり、そのような市として大切にしていることを、回答に加えていただけると良いのではないかと。 （中辻委員） パブリックコメントの3つ目の意見について、市の考え方に「フリースクール等と連携し…」とあるが、具体的にどのような内容か。 （学校教育課） 保護者から相談があった場合、近隣のフリースクールに関する情報を提供している。

(中辻委員)

個人的にフリースクールを運営しており、近隣のフリースクールについて尋ねられることがある。このような場合は、市教委を案内すれば良いか。

(学校教育課)

市教委でも学校でもどちらに問合せしていただいても構わない。

(阪倉委員)

放課後等デイサービス事業を行うには市への登録が必要であるのか。

(こども育成課)

障害福祉担当課に所属していた当時の状況ではあるが、事業実施には大阪府等の指定が必要であったはずである。

(阪倉委員)

放課後等デイサービスの事業所の送迎車両にも関わらず、運転が荒い車もあり、子どもの安全・安心を守る中でこのような事業所が増えると心配だと感じるがあった。

(事務局)

いただいたご意見について、担当課である福祉総務課と共有させていただく。

(井関委員)

計画のどこに記載されているか分からないが、不登校になる要因としては様々に考えられるため、学校に通いづらい子どもたちの選択肢が多く用意されていれば良いと感じている。

(事務局)

現状の市教委の取組について、説明させていただきたい。

(学校教育課)

市教委においては「教育振興基本計画」を策定しており、「子ども・子育て支援事業計画」に市教委の取組すべてを記載している訳ではないことをまずご理解いただきたい。

資料1の市の考え方にも記載しているが、具体的取組としては、全3中学校及び藤井寺小学校に「校内教育支援センター」を設置している。学校に通いづらい子どもたちのファーストステップの場所、あるいは、教室に入りにくい子どもにとっての教室入室前のリラックスできる場所として、順次環境づくりを進めている状況である。

また、長期間、学校に通いづらい状況が続いている子どもたちに対しては、教育支援センター「ウイング」を開設するなどの選択肢も用意している状況である。

(井関委員)

選択肢が幾つかあることが有難いと感じる。子どもたちやご家庭にも目を向けた施策を今後も進めていただくようお願いしたい。

(爲貞委員)

色々と実施していただいておりますが、特にひとり親家庭においては、お子さんへの支援はもちろんであるが、親御さんに寄り添った支援も十分に進めていただきたいと感じている。

また、大阪府では「ひとり親家庭等日常生活支援事業」が実施されているが、利用意向があっても、近隣に派遣可能なヘルパーが少なく、利用に至っていない状況であることも聞き

及んでいる。ヘルパー登録について、市としても力を入れて取り組んでいただけると幸いである。

(興石会長)

議題(1)についてはこれで終了させていただくこととしたい。

(2) 藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行計画（後期計画）（案）について

(興石会長)

次に、議題(2)について、こども施設課より説明をお願いします。

(こども施設課)

○資料3に沿って説明

(興石会長)

只今説明のあった内容について、皆様からご意見ご質問等があればお願いします。

(中辻委員)

市民説明会ではどのような反応であったか。

(こども施設課)

説明会を2回開催し、約50名の参加があった。幼稚園と保育所とが一体化した初めての施設である道明寺こども園の開設当初を知る方の中には、当時の不安が払拭されていないのではないかと感じておられる方もいらっしゃるようであった。

また、小学校区ごとに幼稚園・保育所がそれぞれ設置されていたというかつての状況に立ち返って欲しいという意見もあったが、敷地面積が狭く、現地での施設建て替えが困難であることに加え、幼稚園の就園児数が減少傾向であること等により、集約化を行う必要があることを説明させていただいた。

(中辻委員)

昨年度の部会での検討に参加させていただいた。当初は、現状から変化することに対する不安や戸惑い、寂しさといった気持ちが大きかったが、検討を進めるうえで様々な数字を拝見し、再編整備は仕方がないことや認定こども園のメリット等も説明いただいた。

個人的には納得し、現時点で最善の内容ではないかと思っており、市民の皆さんにも受け入れていただけると嬉しい。

今後、さらに市民説明会を開催していく予定はあるか。

(こども施設課)

今後、施設の再編が具体化していく際には、改めて市民説明会を開催し、保護者等に対して丁寧に説明させていただきたいと考えている。

(興石会長)

パブリックコメントで提出された意見はどれくらいか。

(こども施設課)

現在集計中であるが、50～60件程度、市民説明会で出された意見と同じような意見が多い状況であるが、中辻委員のご意見と同じく、「認定こども園化は時代の流れで致し方ない」といった趣旨のご意見もいただいている状況である。

(井関委員)

個人的には、小規模園の良さはあれども、老朽化への対応等も含め、今の時代に見合った施設であるべきだと感じている。また、市域南側に就学前施設が少ないという状況を説明いただいたが、民間保育施設が誘致され、新たに選択肢が増えることになり非常に羨ましい状況である。

100%の理解を得ることは難しいと思うが、長い年月を経て皆さんに受け入れていただけるようになれば良いと思う。

(中辻委員)

市域を4区分した地域別に色々と分析されているが、堺大和高田線ではなく近鉄南大阪線で市域の南北を区分しているのは何故か。

(こども施設課)

都市計画マスタープランにおける地域区分を採用しているものである。

(中辻委員)

本計画における地域区分について、南北を近鉄南大阪線ではなく堺大和高田線で区分して考えた場合、南西地域における就学前施設の数が増え、市域全体の施設のバランスが良くなるのではないか。

(こども施設課)

藤井寺駅周辺で見れば確かにご指摘のとおりであるが、さらに南側のエリアにおける選択肢が少ないという認識である。

(小磯副会長)

施設が多い地域はこれまで子どもたちが多かったのではないかと推察するが、今後においても、この市域4区分による考え方が適切であると考えておられるのか。

(こども施設課)

4区分が相応しいか否かに対する回答は難しいところだが、現在検討が進められている都市計画マスタープランの修正案においても、引き続きこの市域4区分による考え方が採用されていたと思う。

(小磯副会長)

北西地域は大型商業施設もあり、比較的若い世代の方々が増え、保育ニーズが高かったのではないか。令和18年度までという期間の長い計画であるが、就学前施設の再編検討において、都市計画マスタープランに準じたこの4区分での考え方が適切であるか否かについては、今後しっかりと議論していただきたい。

また、再編整備となると、目に見える数字・データに基づく議論になりがちであり、市民に納得してもらえよう訴えていくのは難しいと感じている。是非、「市として就学前保育・教育を充実していく」という見込みをもって子育て世代を呼び込んでいってもらいたい。

全国的にみても、子育てしやすいと言われている自治体に若い世代の方々が移住し、人口増加に繋がっているということがデータとしても出ているので、藤井寺市においても、「就学前教育・保育の質を担保するためにも、このような再編整備を進める必要がある」という一面を打ち出していただければ、より納得していただきやすいのではないか。

さらに、幼保連携型認定こども園の整備を進めるのであれば、先程説明のあった事業計画において、例えば、就学前施設と小学校との連携においても、「保幼小」ではなく「保幼小」での連携として取り組むことなど、認定こども園においてもしっかりと取組を進めていくことが記載されていれば良いと思うし、公立民間に関わらず、市内全ての就学前施設が市のマネジメントのもとでしっかりと市の就学前教育・保育の取組を進めていくことが伝えられれば、さらに良いのではないかな。

(こども施設課)

アドバイスをいただいたので、今後の参考にさせていただく。

(興石会長)

部会での検討でもお話をさせていただいたが、認定こども園の良さ等について、今現場にいる先生方が自信をもって保護者の皆さんに伝えられることができれば、きっと保護者も安心されるはずである。現場の先生方とも十分対話していただき、そういった雰囲気づくりにも取り組みながら、より良い形を目指していただきたい。

それでは、次の議題に移らせていただく。

(3) 民間保育施設公募結果について

(興石会長)

議題(3)について、こども施設課より説明をお願いします。

(こども施設課)

○資料4に沿って説明

(興石会長)

只今説明のあった内容について、皆様からご意見ご質問等があればお願いします。

(中辻委員)

児童発達支援事業が実施される予定とのことであるが、市内での事業実施は初めてか。

(こども施設課)

児童発達支援事業を実施されている事業所は市内にあるが、保育所内で実施されるというのは初めてである。

(事務局)

放課後等デイサービス等を実施されている事業所の中には、児童発達支援事業も併設して実施されているところもある。

(中辻委員)

もう1点。道明寺こども園には毎月借地料が掛かっているとの話を聞いたのだが、新設園について、市の負担はないのか。

(こども施設課)

今回の公募は、開設予定地を含めて事業者からの提案としたため、新設園における借地料について、市の負担はない。

(井関委員)

これまでの市内の民間園には見られない特徴的な保育内容もあり、非常に羨ましく感じている。

(小磯副会長)

通学する小学校もバラバラになるため、人数の多い民間園は特に小学校との連携も難しいことであると思うが、是非、しっかりと小学校との連携を取っていただきたいと思う。

(4) 就学前保育施設の定員変更について

(興石会長)

次に、議題(4)について、こども育成課より説明をお願いします。

(こども育成課)

○資料4に沿って説明

(興石会長)

ふじの子第二保育園については、受け皿が不足している南西地域に立地しており、定員が減少することについて思うところはあるが、経営面等を考慮すれば致し方ない部分もある。

(小磯副会長)

保育士の配置基準が変更されたことによる影響もあるのではないかな。

(5) その他

(興石会長)

事務局から何かあるか。

(事務局)

本日が今年度最終の会議であった。年間2回程度の会議開催のところ、昨年度と今年度については、第三期計画策定にあたって例年以上に会議への出席をお願いしており、感謝申し上げます。次年度は委員の任期満了となる年度であるが、本件については改めて連絡させていただくのでよろしくお願ひしたい。

(興石会長)

本日の議題はすべて終了した。進行を事務局にお返しする。

4 閉会

(事務局)

委員の皆様には、第三期計画の策定にあたり、2年にわたって様々なご意見をいただいたことにより、計画最終案として取りまとめることができた。改めて感謝申し上げます。以降、計画策定に向けて事務手続きを進め、3月末までに策定を終える予定としている。今後は、新たな計画を基に、いただいた貴重なご意見も参考にしながら、子育て支援等の取組を進めてまいりたいので、引き続きご協力いただくよう宜しくお願いしたい。

以上で第37回藤井寺市子ども・子育て会議を閉会する。

以上